



Part II: 東京大学で利用可能な コミュニケーションツールとクラウドサービス

説明者： 佐藤 寛也
本部DX推進課 主任

質問を**slido**でお寄せください

[このリンク](https://sli.do/)にアクセスするか、

<https://sli.do/> からアクセス

して以下のコードを入力

utelecon20240913

Outline

Part II : 東京大学で利用可能な コミュニケーションツールとクラウドサービス

1. Zoom などのオンライン会議用ツール
2. UTokyo Slack
3. ECCS クラウドメール (Google)
4. UTokyo Microsoft License
5. 生成AI
6. サポート体制

質問を**slido**でお寄せください

[このリンク](https://sli.do/)にアクセスするか,

<https://sli.do/> からアクセス

して以下のコードを入力

utelecon20240913

Zoom

1. Zoomなどのオンライン会議用ツール
2. UTokyo Slack
3. ECCS クラウドメール (Google)
4. UTokyo Microsoft License
5. 生成AI
6. サポート体制

質問を**slido**でお寄せください

[このリンク](https://sli.do/)にアクセスするか,

<https://sli.do/> からアクセス

して以下のコードを入力

utelecon20240913

東京大学で最も一般的なオンライン会議ツール

会議中に利用できる様々な機能がある

- 画面共有
- テキストチャット
- ブレイクアウトルーム
 - 会議を複数の小さな会議室に分割（グループワークなど）
- 投票
 - 簡単なアンケート, クイズなど

オンライン会議に参加するだけであればライセンスは不要です

- サインイン画面の入力欄は使用しない

- 以下のURLに直接アクセス

推奨

<https://u-tokyo-ac-jp.zoom.us/profile>

(このURLのブックマークを推奨します)

UTokyo Account にサインインした状態でない場合には、サインイン画面に移ります。サインインしてください。

Sign In

Email Address

Password

[Forgot password?](#)

[Help](#)

Sign In

By signing in, I agree to the Zoom's Privacy Statement and Terms of Service.

☐ Stay signed in

Or sign in with



SSO



Apple



Google



Facebook

Zoom is protected by reCAPTCHA and the Privacy Policy and Terms of Service apply.

- サインイン画面の入力欄は使用しない

- 以下のURLに直接アクセス

推奨

<https://u-tokyo-ac-jp.zoom.us/profile>

(このURLのブックマークを推奨します)

- またはSSO ボタンからアクセスできる

Sign In

Email Address

Password

Forgot password? Help

Sign In

By signing in, I agree to the Zoom's Privacy Statement and Terms of Service.

☐ Stay signed in

Or sign in with

SSO Apple Google Facebook

Zoom is protected by reCAPTCHA and the Privacy Policy and Terms of Service apply.

Zoom へのサインイン

- サインイン画面の入力欄は使用しない

- 以下のURLに直接アクセス

推奨

<https://u-tokyo-ac-jp.zoom.us/profile>

(このURLのブックマークを推奨します)

- またはSSO ボタンからアクセスできる

会社のドメインに **u-tokyo-ac-jp** を入力

UTokyo Account にサインインした状態でない場合には、サインイン画面に移ります。サインインしてください。

ピリオドでなくハイフンなので注意

Sign In With SSO

Enter your company domain.

Company Domain .zoom.us

Help

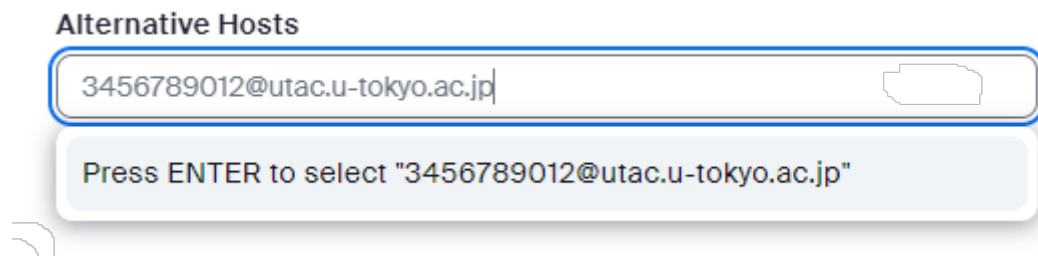
Continue

[I don't know the company domain](#)

Zoom 利用のポイント

- 基本的な使い方は通常のZoomと同じ
- **代替ホストを指定**するときは **UTokyo Account** を使う

10桁の数字 + “@utac.u-tokyo.ac.jp”



- 組織内に限定した会議の設定は東大では一般的でない
 - 学生はしばしばサインインせずにオンライン授業に参加する
 - そのため, **Zoom情報の共有展開時には注意が必要**

Zoom 利用のポイント

- 以下の場合には個別の事前設定が必要
 - 参加者が300名を超えるオンライン会議を開催するとき
 - ウェビナーを開催するとき
- あらかじめ[ライセンス追加フォーム](#)から申請してください

- **不要になったレコーディングは削除してください！**
 - 大学全体の容量の上限には限りがあります

Webex

1. Zoom などのオンライン会議用ツール
2. UTokyo Slack
3. ECCS クラウドメール (Google)
4. UTokyo Microsoft License
5. 生成AI
6. サポート体制

質問を**slido**でお寄せください

[このリンク](https://sli.do/)にアクセスするか,

<https://sli.do/> からアクセス

して以下のコードを入力

utelecon20240913

- ・オンライン会議ツール

- ・大規模なオンライン会議やウェビナー向け
- ・大規模なオンライン会議やウェビナーの開催に適した機能が充実
(事前の申請不要でウェビナーが開催可能)

例) 参加登録画面のカスタマイズ機能

webex へのサインイン

- Email Address 欄に

UTokyo Account を入力して次へ
10桁の数字 + “@utac.u-tokyo.ac.jp”

UTokyo Account にサインインした状態でない場合には、サインイン画面に移ります。サインインしてください。

<https://signin.webex.com/signin>



The image shows a Webex login interface. At the top is the Webex logo and the word "ログイン" (Login). Below this, it says "次で続行:" (Continue with:). There are four circular icons for Google, Microsoft, Facebook, and Apple. Below these is the text "または" (or). A red box highlights the "Email address" input field, which contains the text "3456789012@utac.u-tokyo.ac.jp". Below the input field is a button labeled "次へ" (Next). At the bottom, there is a link: "Webex アカウントをお持ちでない場合 無料でサインアップ" (If you don't have a Webex account, sign up for free).

Slido

1. Zoom and Tools for Online Meeting
2. UTokyo Slack
3. ECCS Cloud Email (Google)
4. UTokyo Microsoft License
5. Generative AI and other tools
6. How to Get Supported

質問を**slido**でお寄せください

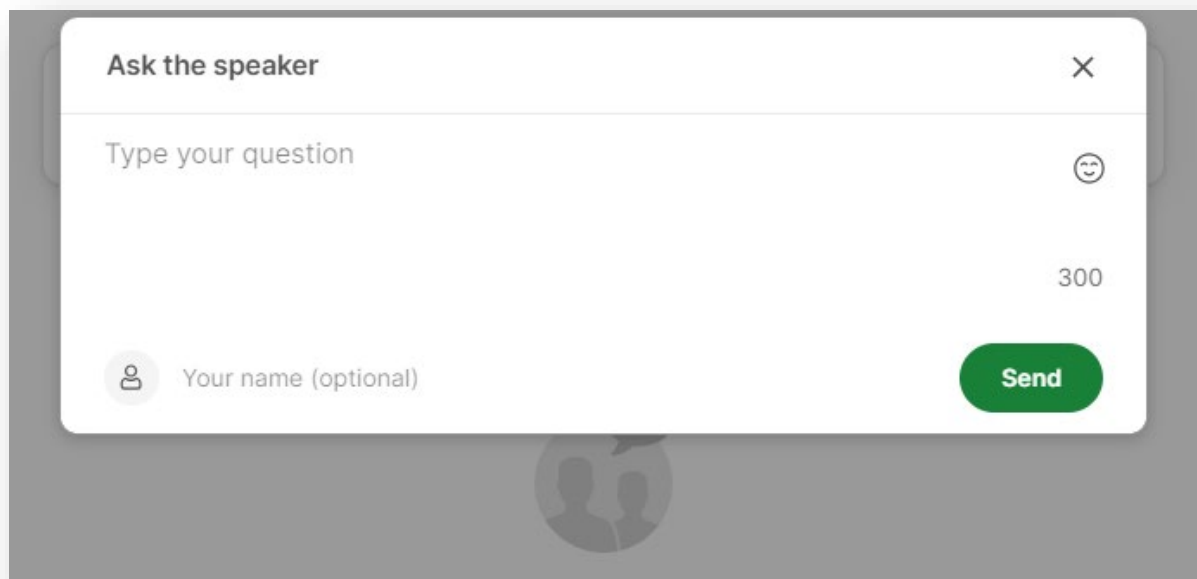
[このリンク](https://sli.do/)にアクセスするか,

<https://sli.do/> からアクセス

して以下のコードを入力

utelecon20240913

- 会議やイベントで**質疑応答や投票**をおこなうツール
 - 会議やイベントごとにウェブページを作成
 - 匿名で質問を寄せてもらったうえ、モデレータから回答できる



Ask the speaker

Type your question

300

Your name (optional)

Send

本日の説明会でも利用しています！

質問をslidoでお寄せください

このリンクにアクセスするか、
<https://sli.do/> からアクセス
して以下のコードを入力

utelecon20240913

事前質問も歓迎します！

Slido へのサインイン

- Email Address 欄に
UTokyo Account を入力して次へ
10桁の数字 + “@utac.u-tokyo.ac.jp”

ここからもログイン可能

UTokyo Account にサインインした状態でない場合には、サインイン画面に移ります。サインインしてください。

<https://admin.sli.do/events>

Log in to your account

Haven't signed up yet? [Create account](#)



Log in with Webex



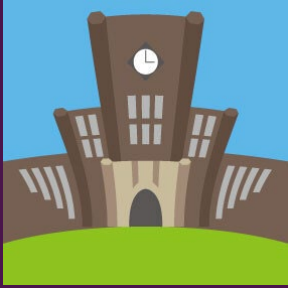
Log in with Google

or

Your email

3456789012@utac.u-tokyo.ac.jp

Continue



UTokyo Slack

1. Zoom などのオンライン会議用ツール
2. UTokyo Slack
3. ECCS クラウドメール (Google)
4. UTokyo Microsoft License
5. 生成AI
6. サポート体制

質問を**slido**でお寄せください

[このリンク](https://sli.do/)にアクセスするか,

<https://sli.do/> からアクセス

して以下のコードを入力

utelecon20240913

U 東京大学における Slack の提供

- Slack : チャットを中心にした, チームでのコミュニケーションのためのツール
 - ワークスペースと呼ばれるチームの中での共同作業
- 東京大学では「UTokyo Slack」と称して包括契約環境を提供
 - 本学構成員は有償ワークスペース向けの機能を利用可能
 - ワークスペースの扱いが通常のSlackとは少し異なる点あり

UTokyo Slack 参加の手順

UTokyo Slack にアクセス

<https://utokyo.enterprise.slack.com/>



「UTokyo Account でサインインする」をクリック

UTokyo Account にサインインした状態でない場合には、サインイン画面に移ります。サインインしてください。

初めて UTokyo Slack に参加するときのみ

注意事項 1 : 情報セキュリティ教育を受講完了している必要があります

注意事項 2 : 多要素認証を有効化している必要があります



サービス利用規約の確認を求められる



ワークスペース一覧が表示される



UTokyo Slack 参加の手順

UTokyo Slack にアクセス

<https://utokyo.enterprise.slack.com/>



「UTokyo Account でサインインする」をクリック



サービス利用規約の確認を求められる



ワークスペース一覧が表示される



参加したいワークスペースを選択

- ・ **参加してSlackを起動する** → 直接ワークスペースに参加が可能
- ・ **参加をリクエストする** → リクエストの承認後にワークスペースに参加
- ・ **ワークスペースに参加するには招待が必要です** : 参加には直接の招待が必要

- 初めて UTokyo Slack に参加した際には、**プロフィールを変更**してください
 - 名前としてメッセージに表示される「表示名」は、初期状態では UTokyo Account の10桁の数字になっています
 - 他のユーザが誰かを識別できるよう、**適切な名前に変更**することを推奨しています
- プロフィールの変更手順（PCの場合）**

 - 画面左下のユーザアイコンを押す
 - 表示されるメニューから「プロフィール」を選択する
 - 名前の右に表示されている「編集」を押す
 - 変更を入力して「変更を保存」を押す
- プロフィールは UTokyo Slack 内のすべてのワークスペースに共通であり、**ワークスペースごとにプロフィールを変えることはできません**

通常のSlackワークスペース

Workspace A
#channel_a
#channel_b
Direct Messages

Workspace B
#channel_a
#channel_b
Direct Messages

Workspace C
#channel_a
#channel_b
Direct Messages

Enterprise Grid のワークスペース

UTokyo Slack
(Enterprise Grid)

- Workspace A
#channel_a
#channel_b
- Workspace B
#channel_a
#channel_b
- Wordspace C
#channel_a
#channel_b

Direct Messages **(共通)**

ワークスペースの作成

- ・ **教職員はワークスペースの作成を申請できます**（**学生は不可**）

- ・ 申請の手順は [utelecon の案内ページ](#)を参照してください
- ・ ワークスペースの種類

	ワークスペース一覧での表示	ユーザが自分自身で参加	ユーザが参加リクエストを送信	管理者が招待メールを送信
公開	○	○	—	○
リクエスト制	○	×	○	○
招待制	○	×	×	○
非公開	×	×	×	○

- ・ ワークスペースの作成後、メンバーを招待してください
 - ・ メンバーを招待するには、**招待する人の UTokyo Account の数字10桁を知っている必要**があります

- Slack コネクト
 - UTokyo Slack 環境で学外の人と共同作業するための方法
 - Slack の「ゲスト」機能は UTokyo Slack では利用できません
 - UTokyo Slack のワークスペースとその他の学外 Slack ワークスペースとの間で共有されるチャンネルを作成
 - UTokyo Slack のワークスペースは無料ライセンスのワークスペースとの間でも Slack コネクトの機能が利用可能です

<https://utelecon.adm.u-tokyo.ac.jp/slack/workspace/connect>

- マルチワークスペースチャンネル
 - UTokyo Slack 内の複数のワークスペースで共有されるチャンネルを作成

<https://utelecon.adm.u-tokyo.ac.jp/slack/details#mwsc>

Microsoft Teams

Teams

1. Zoom などのオンライン会議用ツール
2. UTokyo Slack
3. ECCS クラウドメール (Google)
4. UTokyo Microsoft License
5. 生成AI
6. サポート体制

質問を**slido**でお寄せください

[このリンク](https://sli.do/)にアクセスするか,

<https://sli.do/> からアクセス

して以下のコードを入力

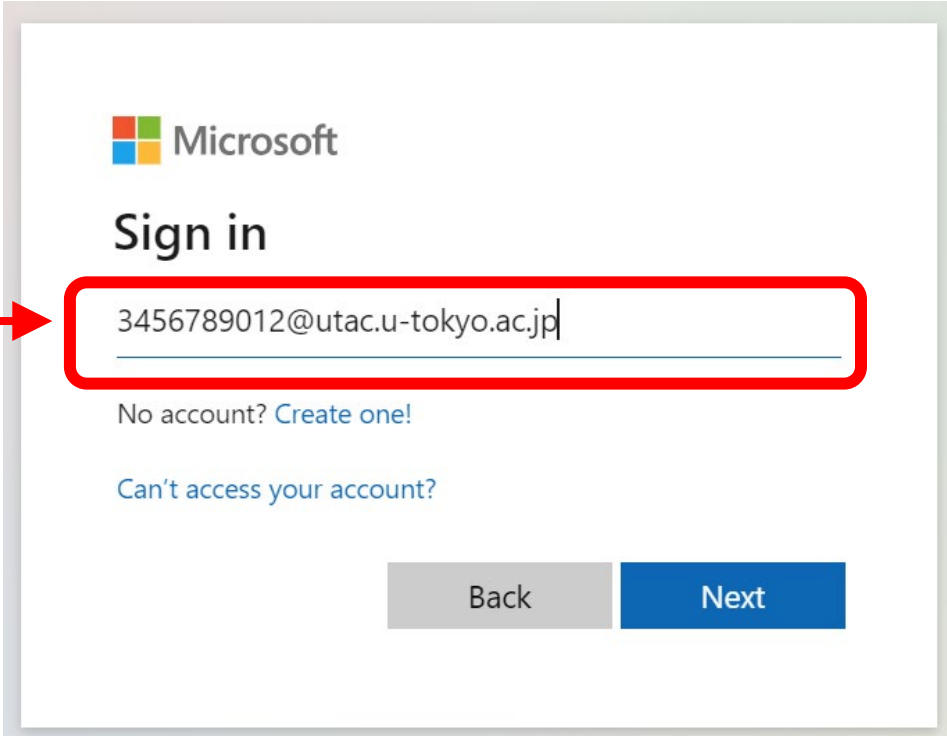
utelecon20240913

- 教職員は Microsoft Teams を利用できます（**学生は不可**）
- Microsoft Teams は職員に多く利用されています
 - 部局事務部・本部各課ごとにチームが作成されています
 - 教職員は業務上必要なチーム作成を申請できます

U Microsoft Teams にサインイン

- メール, 電話, Skype 欄に
UTokyo Account を入力し次へ
10桁の数字 + “@utac.u-tokyo.ac.jp”

UTokyo Account にサインインした状態でない場合には,
サインイン画面に移ります. サインインしてください.



Microsoft

Sign in

3456789012@utac.u-tokyo.ac.jp

No account? [Create one!](#)

[Can't access your account?](#)

Back Next

<https://teams.microsoft.com/>

ECCS Cloud Email (Google)

1. Zoom などのオンライン会議用ツール
2. UTokyo Slack
3. ECCS クラウドメール (Google)
4. UTokyo Microsoft License
5. 生成AI
6. サポート体制

- **教育用計算機システム ECCS**

Educational Campuswide Computing System

- 情報基盤センターが提供する教育用システムの総称

- **ECCS クラウドメール**

- ECCS の一環として提供されている **Google Workspace for Education** の環境

ECCS クラウドメール (@g.ecc.u-tokyo.ac.jp)

- Gmailと使い勝手は同じ ; ドメインは ECCS クラウドメール独自
- 初期設定状態でのメールアドレスは
数字10桁 + @g.ecc.u-tokyo.ac.jp です
- 初期設定状態のまま使うこともできますが、**好みのメールアドレスに変更することを推奨しています**
- メールアドレスを変更した後も、**初期メールアドレスを宛先としたメールは引き続き受け取ることができます**

- ECCS クラウドメールを日常的には使わないつもりであっても、初期設定は済ませておくことを推奨しています
 - Zoom や Slack からのものなど、ECCS クラウドメール宛にし
か届かないメールがあります
 - 日常的に利用しているメールアドレスへの転送を設定することも
可能です

ECCS クラウドメールのアドレスを変更する

1. UTokyo Account 利用者メニューにアクセスしてください
 - このログイン時に入力するのは共通ID10桁のみです (@utac 以下は不要です)
2. 「ECCSクラウドメール」をクリックしてください
3. 任意のユーザーネーム (@以前の文字列) を入力し「保存」を押してください
4. **40分以上待ってください**

Username (string before @) **Requirements**

- 使用できるのは小文字英字, 数字, ハイフンです :
abcdefghijklmnopqrstuvwxyz0123456789-
- 既に他のユーザが利用している (利用したことがある) ものは設定できません
- 管理上の理由から設定できない文字列があります
- 何度でも変更可能ですが, 一度変更したメールアドレスは変更後の30日間は変更できません.

ECCS クラウドメールへのサインイン

- **変更後**のメールアドレスを入力し，次へ

UTokyo Account にサインインした状態でない場合には，サインイン画面に移ります．サインインしてください．

<https://mail.google.com/>

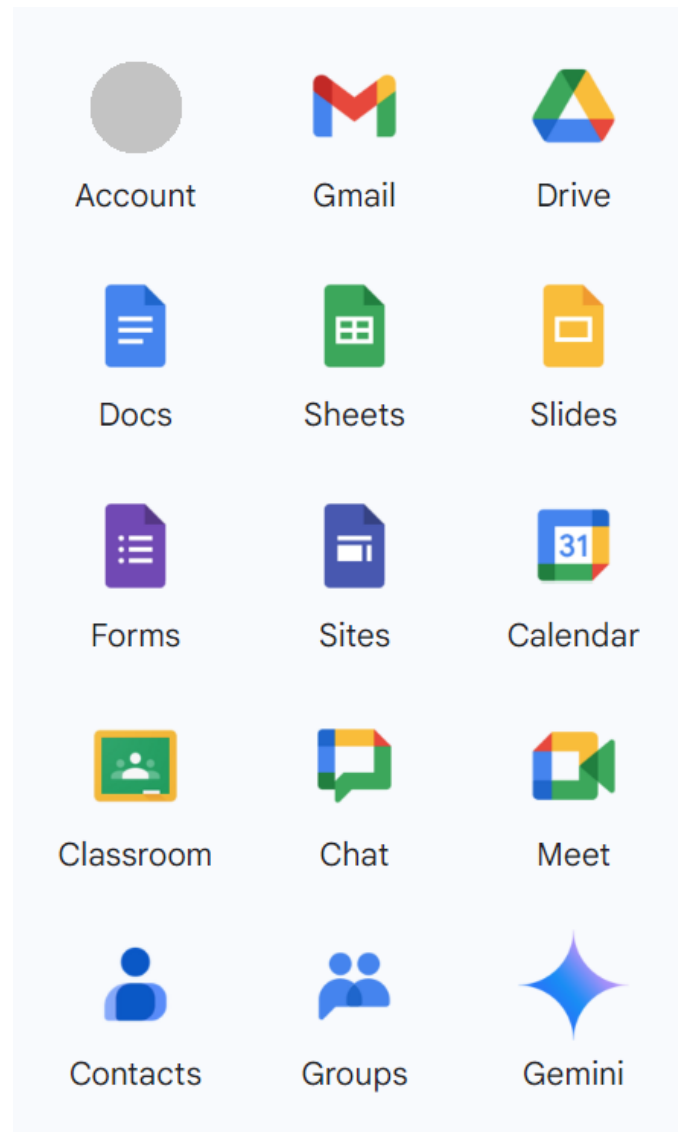


The screenshot shows the Google login interface. At the top is the Google logo. Below it is the text 'ログイン' (Login) and a link 'Gmail に移動' (Move to Gmail). A text input field is labeled 'メールアドレスまたは電話番号' (Email address or phone number) and contains the text 'changedusername@g.ecc.u-tokyo.ac.jp'. This input field is highlighted with a red rectangular box. A red arrow points from the underlined '入力' (input) in the bullet point above to this box. Below the input field is a link 'メールアドレスを忘れた場合' (If you forgot your email address). Further down, there is a note about guest mode: 'ご自分のパソコンでない場合は、ゲストモードを使用して非公開でログインしてください。' followed by a link 'ゲストモードの使い方の詳細' (Details on how to use guest mode). At the bottom right, there are two buttons: 'アカウントを作成' (Create account) and '次へ' (Next).

- サインイン後は，Gmail と同じように利用できます

- **Gmail** – 電子メール
- **Calendar** – スケジュールの管理と共有
- **Drive** – クラウドにファイルを保存し共有
- **Docs/Sheets/Slides**
 - ドキュメントの作成と共有（共同作業）
- **Forms** – フォームを作成し回答を収集
- **Sites** – ウェブページを作成し公開
- **Classroom** – 学習管理システム（LMS）
 - ※ 基本的には UTOL の利用を推奨しています
- **Gemini** – 対話型生成AI

など



個人用 Google アカウント (@gmail.com) との違い

- Gmail
 - メールアドレスのドメインは **@g.ecc.u-tokyo.ac.jp**
 - メールアドレス（ユーザーネーム）を変更可能
- Google Drive
 - 共有範囲を学内構成員（ECCSクラウドメールユーザ）に限定することが可能
 - 個人のマイドライブの容量上限が**125GB**
 - 所有する共有ドライブ（後述）に割り当てている容量が個人のマイドライブ容量から差し引かれます
 - 大学の予算（私費は不可）での支払いが可能な場合、有償で容量を拡大することができます。詳細は以下を参照してください。
https://www-old.ecc.u-tokyo.ac.jp/storage_mgt/
※ URLが近日中に変更になる予定があります

個人用 Google アカウント (@gmail.com) との違い

- Google Drive – **共有ドライブ**の作り方
 - 容量を管理する必要があるため、通常の方法では共有ドライブを作成することができません
 - 共有ドライブについて
https://utelecon.adm.u-tokyo.ac.jp/en/google/drive/shared_drive
 - 共有ドライブの作り方
https://www-old.ecc.u-tokyo.ac.jp/storage_mgt/
※ URLが近日中に変更になる予定があります

他の Google ワークスペースの可能性

- 一部に、**ECCS クラウドメールとは別に、独自の Google Workspace のアカウントを構成員に提供している部局**があります
 - ECCS クラウドメール以外の Google Workspace のアカウントも与えられている場合は、状況に応じてアカウントを切り替えてください
- ここに記載されているのは ECCS クラウドメールの Google Workspace についてであり、各部局の Google Workspace では同様とは限りません
 - 詳細は各部局の担当者にお問い合わせください

UTokyo Microsoft License

1. Zoom などのオンライン会議用ツール
2. UTokyo Slack
3. ECCS クラウドメール (Google)
4. UTokyo Microsoft License
5. 生成AI
6. サポート体制

質問を**slido**でお寄せください

[このリンク](https://sli.do/)にアクセスするか,

<https://sli.do/> からアクセス

して以下のコードを入力

utelecon20240913

U Microsoft 365 へのサインイン

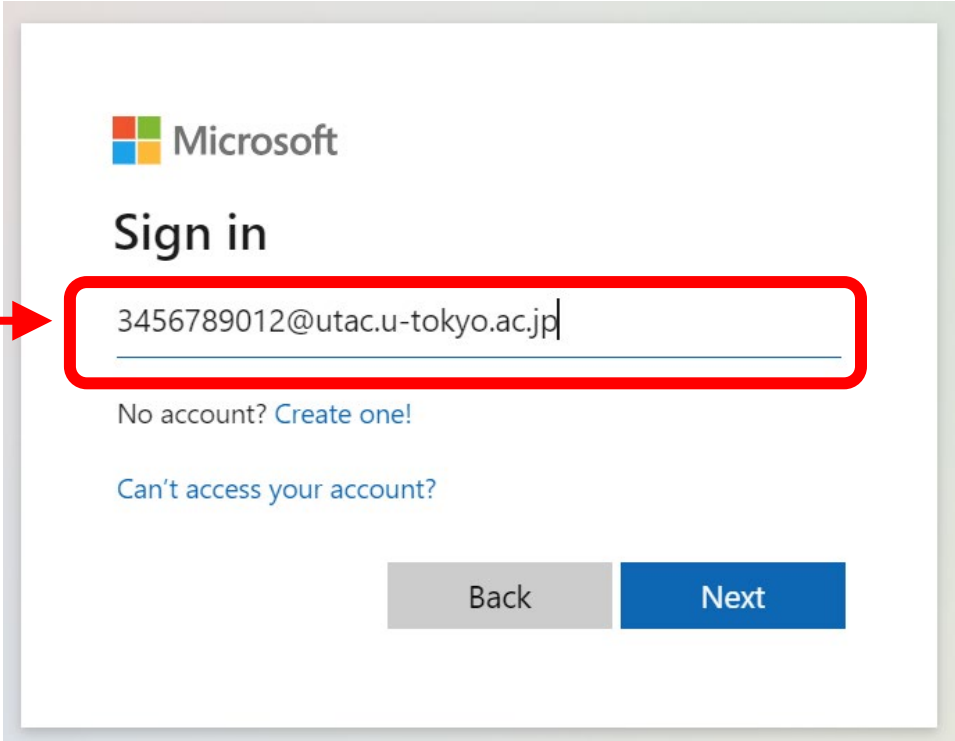
- 学内構成員には Microsoft 365 が提供されています

- メール, 電話, Skype 欄に

UTokyo Account を入力し次へ

10桁の数字 + “@utac.u-tokyo.ac.jp”

UTokyo Account にサインインした状態でない場合には、サインイン画面に移ります。サインインしてください。



Microsoft

Sign in

3456789012@utac.u-tokyo.ac.jp

No account? [Create one!](#)

[Can't access your account?](#)

Back Next

<https://www.office.com/login>

- **Teams** – テキストチャットのコミュニケーション
- **Outlook**
 - メール – **職員メール**と Microsoft 365 各種サービスからの通知
 - カレンダー – スケジュールの管理と共有
- **Word/Excel/PowerPoint** – ドキュメント作成と共有（共同作業）
- **OneDrive/SharePoint** – クラウドにファイルを保存し共有
- **Power Platform** – 自動化フローや独自アプリの作成など
- **Copilot** – 対話型生成AI
など

(Teams については既述)

- Outlook

- Outlook で利用する職員メールアドレスを設定して利用可能

[姓ローマ字].[名ローマ字]@mail.u-tokyo.ac.jp (原則)

- 詳細は [UTokyo Portal の案内ページ](#)を参照してください

- **職員メールを発行すると、学内構成員が氏名でTeamsやOutlookの連絡先を検索できるようになります**
 - **職員メールを設定していなくても、Microsoft 365 のサービスからの通知は Outlook のメールボックスに届きます**

例) OneDrive のファイル共有通知, Teams のメンション通知など

- **Word** : 文書作成アプリケーション (.docx)
- **Excel** : 表計算アプリケーション (.xlsx)
- **PowerPoint** : プレゼンテーション用アプリケーション (.pptx)
- 学内では多くの場合、**これらのアプリケーションがドキュメント編集に用いられ**、これらファイル形式でのデータ提出を求められます
 - 日常的にはこれらのアプリケーションを使用しない場合でも、所定様式での提出を求められた時などのため、使える環境を整えておいてください
- 学生または雇用された教職員は、自身の端末にApplicationをインストールして使うことが可能です
 - その他の方はウェブ版アプリケーションを利用してください

- 個人用のクラウドストレージ（正確には「OneDrive for business」）
- **50GB**の個人 OneDrive 容量が利用可能
 - 現在は容量を追加する方法はありません
 - **近日中にで容量を拡大できるようにする予定です**
（大学の予算での支払いが可能場合に限り，私費負担は不可）
- 共同作業のため，Microsoft Teams のチームそれぞれに「SharePoint」と呼ばれる共有クラウドストレージが付随
 - 大学の予算（私費は不可）での支払いが可能な場合，有償で容量を拡大することができます

クラウドストレージを活用しましょう

- ファイルはを共有することで同時に編集して共同作業が可能
- 共有リンクを発行することでファイルを送ったり受け取ったりすることが可能
- PPAPはなくしていきましょう
 - PPAPとは「パスワード付き（ZIP）ファイルを送ります，別メールでパスワードを送ります」という手順のこと

Power Platform

- ノーコード・ローコード（最小限のプログラミング作業）でアプリを開発したり作業を自動化したり（データ分析したり）できるMicrosoft社の一連のサービス群
- 教職員は Power Automate と Power Apps が利用可能
- 現在は Power BI は提供なし
- Power Automate を Microsoft Forms などと組み合わせると、比較的簡単に業務の自動化が実現できる

生成AI

Generative AI

1. Zoom などのオンライン会議用ツール
2. UTokyo Slack
3. ECCS クラウドメール (Google)
4. UTokyo Microsoft License
5. 生成AI
6. サポート体制

質問を**slido**でお寄せください

[このリンク](https://sli.do/)にアクセスするか,

<https://sli.do/> からアクセス

して以下のコードを入力

utelecon20240913

- 太田理事・副学長（当時）のメッセージ
- （教員向け） AIツールの授業における利用について
- （学生向け） 東京大学の学生の皆さんへ：AIツールの授業における利用について
- （共通） 東京大学における生成AI利用に係るセキュリティガイドライン

Microsoft Copilot

<https://copilot.microsoft.com>

- Microsoft 社が提供するクラウドサービスで、OpenAI 社の chat GPT (GPT-4) に相当する生成AIとインターネット検索（Bing検索）とを組み合わせたもの
- 本学構成員は大学の契約の下で「商用データ保護を備えたMicrosoft Copilot」を利用でき、入出力データはモデル学習に使用されない
- 詳細は[uteleconの関係記事](#)を参照

(Copilot for Microsoft 365)

- Word, Excel, OutlookなどのMicrosoft 365アプリに統合されたAIアシスタントで、文書の下書き、データ分析、メール管理などの作業を支援
- 個別ライセンス料を要するため、現在は一部の職員による試験利用中

Google Gemini

(ECCS クラウドメールの Google Workspace で利用可能)

<https://gemini.google.com/app>

- Google 社が提供する生成AI
- 入力したデータはモデルの学習などに利用されない

Gemini for Education ユーザーは、追加のデータ保護機能を利用できるようになりました



お客様が共有するデータは、プロンプトに回答するためにのみ使用されます。お客様のデータが、Gemini などの生成 AI モデルのトレーニングまたは改良に使用されることはありません。

[ユーザーデータの取り扱いの詳細](#)

完了

Summary

Part II : 東京大学で利用可能な コミュニケーションツールとクラウドサービス

1. Zoom などのオンライン会議用ツール
2. UTokyo Slack
3. ECCS クラウドメール (Google)
4. UTokyo Microsoft License
5. 生成AI
6. サポート体制

質問を**slido**でお寄せください

[このリンク](https://sli.do/)にアクセスするか,

<https://sli.do/> からアクセス

して以下のコードを入力

utelecon20240913

ZoomUTokyo SlackECCS Cloud Email
(Google)Microsoft

- 東京大学は様々なサービスのライセンスを提供しています
- 一般向けサービスとはサインイン方法や使い勝手が一部異なる点がある点に留意してください
 - 一般向けサービスと共通の、各サービスの使い方についての情報は、公開されている様々な情報資源・媒体でも得ることができます

ぜひ各種のツールを使いこなしてください！

サポート体制

(すべてのパートの内容に共通)

1. Zoom などのオンライン会議用ツール
2. UTokyo Slack
3. ECCS クラウドメール (Google)
4. UTokyo Microsoft License
5. 生成AI
6. サポート体制

質問を**slido**でお寄せください

[このリンク](https://sli.do/)にアクセスするか,

<https://sli.do/> からアクセス

して以下のコードを入力

utelecon20240913

サポートが必要なときは

情報を得たい

utelecon ポータルサイト

UTokyo Portal

部局ポータルサイトなど

その他の公開されている情報

相談したい

utelecon サポート窓口

部局の情報担当部署・窓口

ITツール利活用コミュニティ

困ったときの **utelecon**

<https://utelecon.adm.u-tokyo.ac.jp/>

- Google検索
 - 多くの場合, 「utelecon」を組み合わせて検索すれば必要な情報が見つかる
- サポート窓口
 - チャット
 - オンライン通話
 - メールフォーム

utelecon zoom



UTokyo Portal もチェックしてください

<https://univtokyo.sharepoint.com/sites/utokyportal/>

※ 教職員のみがアクセス可能（学生は不可）

- 通知（随時更新）
 - 定期的に最新の通知を確認してください
 - 重要な通知は和英併記で掲載されます
- マニュアル集「便利帳」
 - 教職員向けシステムの詳細はこちらに記載
 - 大学全体についての各業務分野の情報も掲載
 - （多くの記事は現状では日本語のみの提供です）

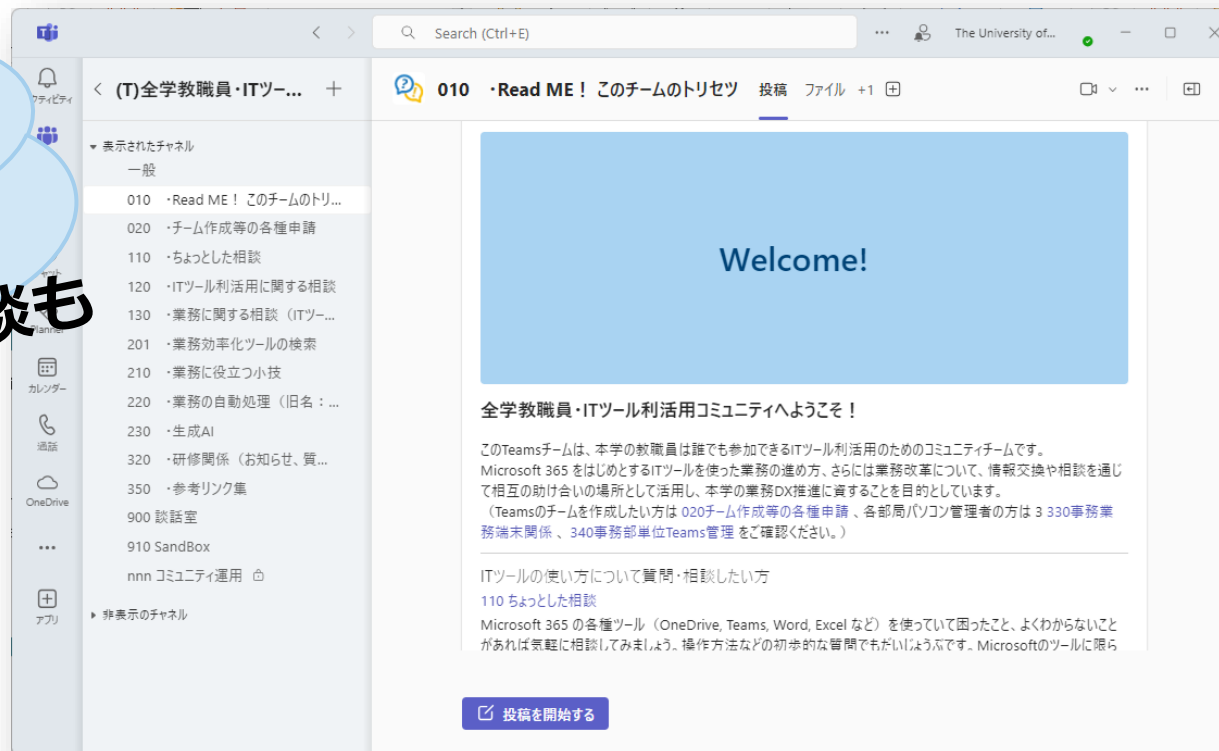
The screenshot displays the UTokyo Portal interface. At the top, there's a navigation bar with links for 'UTokyo Portal', 'FAQ', and 'Porta'. Below this, a 'UTokyo FOCUS' section highlights key areas like 'Education, Student Support', 'Research, Academic Collaboration', and 'Society, Career Development'. A prominent message from President Fuji is featured, followed by a 'UTokyo COMPASS' section. The main content area is divided into 'Quick Reference' (Seating Chart, Personnel Directory, Rulebook, etc.) and 'Notices / Notices' (公報 / 通知). The notices are listed in a table with columns for date, category, title in Japanese, title in English, and a link. The bottom section includes 'Business Improvement' and 'UTokyo Official WebSite'.

- 部局で独自に提供されている情報システム・サービスについては、部局の情報担当部署・窓口にご相談してください
- 部局が独自のポータルサイトを提供している場合もあります

教職員は誰でも参加できる Microsoft Teams のコミュニティ

ITツールの使い方の相談
業務自動化・効率化の情報交換
その他ITツール以外の業務の相談も

既に1,700人以上の教職員が参加しています



UTokyo Portal「ITツールの利活用」ページからぜひご参加を！

- 本日の説明内容は現時点での最新情報です
- サービスの提供内容や設定状況は、状況に応じて変更となる場合があります
- 最新の更新情報は utelecon ポータルサイトや、その他の関係ウェブサイトでお知らせします